

# エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

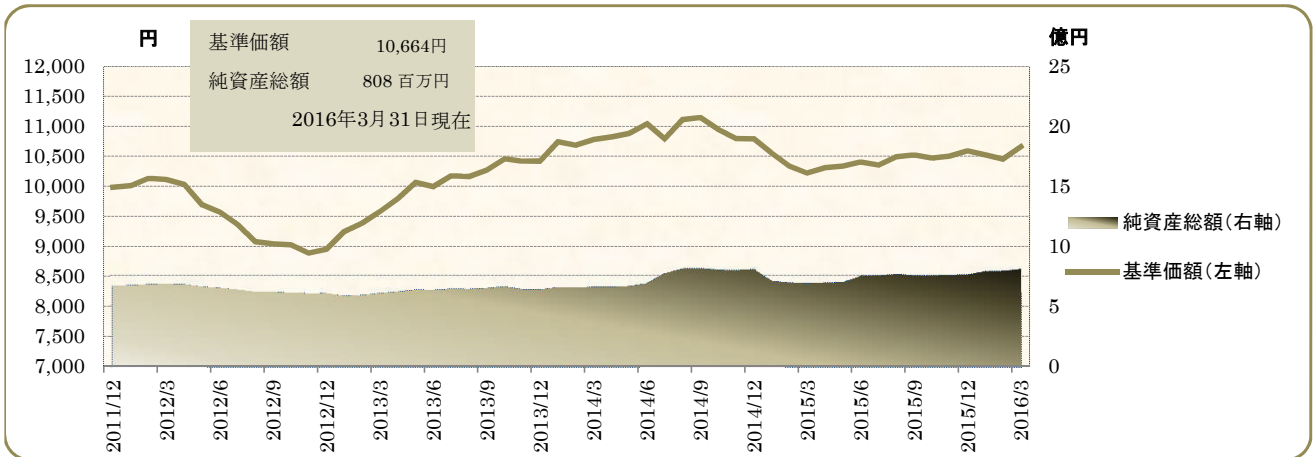
ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託(追加型)

作成基準日

2016年3月31日

## 基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

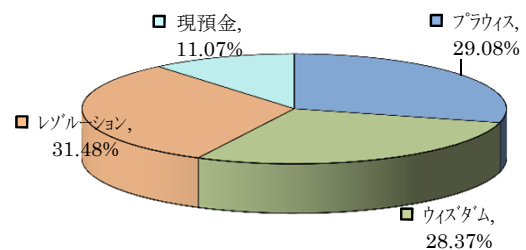
| 2016 | 1月     | 2月     | 3月     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月     | 8月    | 9月    | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
|------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 騰落率  | -0.65% | -0.67% | 2.02%  |       |       |       |        |       |       |        |        |        | 0.67%  |
| 2015 | 1月     | 2月     | 3月     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月     | 8月    | 9月    | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
| 騰落率  | -2.19% | -2.07% | -1.13% | 0.85% | 0.28% | 0.68% | -0.50% | 1.31% | 0.29% | -0.49% | 0.32%  | 0.87%  | -1.85% |
| 2014 | 1月     | 2月     | 3月     | 4月    | 5月    | 6月    | 7月     | 8月    | 9月    | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
| 騰落率  | 3.05%  | -0.55% | 0.89%  | 0.41% | 0.55% | 1.48% | -2.27% | 2.94% | 0.34% | -1.73% | -1.44% | -0.02% | 3.54%  |



## 運用実績

|         |             |               |
|---------|-------------|---------------|
| 設定日:    | 2011年12月19日 |               |
| 決算日:    | 毎年11月30日    |               |
| 当初設定元本: | 673百万円      |               |
| 基準日:    | 2016年3月31日  |               |
| 基準価額:   | 10,664円     | 対前月比 211円     |
| 純資産総額:  | 808百万円      | 対前月比 +17.0百万円 |
| 設定来高値:  | 11,146円     |               |
| 設定来安値:  | 8,888円      |               |
| 期間別     | 3ヶ月         | 0.67%         |
| 基準価額騰落率 | 6ヶ月         | 1.36%         |
| 設定来     | ファンド        | 6.64%         |
| 基準価額騰落率 | TOPIX       | 86.19%        |
|         | 日経平均        | 99.47%        |

## 投資対象ファンドへの資産配分 ( 2016年3月31日現在 )



運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

## 投資対象ファンドの基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

| 2016     | 1月     | 2月     | 3月     | 4月    | 5月    | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
|----------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| プラウイス    | -0.72% | -0.39% | 1.59%  |       |       |        |        |        |        |        |        |        | 0.47%  |
| ウィズダム    | -0.47% | -2.84% | 1.22%  |       |       |        |        |        |        |        |        |        | -2.12% |
| レゾリューション | 0.02%  | 1.80%  | 4.82%  |       |       |        |        |        |        |        |        |        | 6.72%  |
| 2015     | 1月     | 2月     | 3月     | 4月    | 5月    | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
| プラウイス    | -2.91% | 0.43%  | -0.74% | 1.81% | 0.84% | -0.27% | 0.22%  | 0.84%  | 0.48%  | 0.83%  | 0.19%  | 0.15%  | 1.82%  |
| ウィズダム    | -1.38% | -1.99% | -0.24% | 0.27% | 0.85% | 1.82%  | 0.96%  | 1.39%  | -0.95% | 0.00%  | 0.92%  | 0.54%  | 2.14%  |
| レゾリューション | -1.92% | -4.43% | -1.60% | 1.93% | 0.57% | 2.72%  | -1.63% | 3.38%  | 2.61%  | -1.26% | 1.14%  | 3.19%  | 4.44%  |
| 2014     | 1月     | 2月     | 3月     | 4月    | 5月    | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
| プラウイス    | 2.24%  | -0.37% | 0.41%  | 1.08% | 0.88% | 2.08%  | -0.16% | -0.32% | 1.01%  | -0.04% | -0.24% | -1.41% | 5.22%  |
| ウィズダム    | 0.94%  | -0.06% | 0.36%  | 0.81% | 0.50% | 1.06%  | -0.30% | 1.17%  | 0.46%  | -0.04% | 0.03%  | 0.33%  | 5.38%  |
| レゾリューション | 6.74%  | -0.06% | 2.94%  | 0.52% | 1.36% | 2.63%  | -2.53% | 5.02%  | 1.61%  | -3.52% | -0.75% | 2.09%  | 16.76% |

※ 上記騰落率は投資対象ファンドの費用控除後の騰落率です。エピック・ヘッジファンド・セレクション1(以下「HFS」という)にかかるコスト等が含まれないため、投資対象ファンドの騰落率を資産配分結果で加重平均した場合、HFSの基準価額騰落率とは一致いたしません。

## エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

## 相場動向

3月の株式相場は、日経平均で4.57%上昇の16,758.67円、TOPIXで3.80%上昇の1,347.20ptとなりました。世界経済や株式市場に対する悲観が薄れ、上昇しました。

上旬は、中国の追加金融緩和や米経済指標の改善を受け、反発して始まりました。米ISM製造業景況感指数や米雇用統計が米国景気の改善を示して米国株が上昇したことや、原油安が一段落したことなどから外需株や資源関連株を中心に買戻しが入りました。

中旬は、ECBの追加金融緩和策が評価され上昇する局面もありましたが、円高・ドル安が加速すると下落に転じました。米FOMCで年内の利上げペースを緩やかにすることが示唆されると、一時1ドル110円台まで円高・ドル安が進み、外需株を中心に下落しました。

下旬は、円高を受けた企業業績への懸念と、消費増税先送りや景気刺激策等の政策への期待の狭間で、膠着状態となりました。

需給面では、海外投資家が3カ月連続で大幅売り越しとなる一方、個人投資家や信託銀行、投資信託など国内投資家が買い越しとなりました。

セクター別騰落率では、小売業、海運業、鉄鋼、ガラス土石、その他金融業が上位となり、保険業、陸運業、非鉄金属、電力・ガス業、医薬品が下位となりました。

東証一部の売買代金は1日当たり2.2兆円と、2月より減少しました。

新興市場の騰落率は、JASDAQインデックスが6.43%上昇、東証マザーズ指数が21.72%上昇と、TOPIXを大きくアウトパフォームしました。

ファクター面では、3月前半と後半でトレンドが大きく変化しました。前半は、2月のモメンタム相場から一転してリバーサル相場となり、バリュー銘柄や高リスク銘柄が好調でした。後半は、モメンタム相場に戻り、低リスク銘柄が選好されました。

## 組入ファンドの運用状況と今後の市況見通し及び投資戦略

## 【ブラウイス】

## 〈ファンド運用状況〉

3月の運用成績はJPYクラスで1.59%となりました。3月前半は2月に大幅に売り込まれた銘柄のリバウンドが大きかったことに加え、バリュエーション面で割高なディフェンシブ銘柄が相対的にアンダーパフォームしたことからプラスとなりました。中旬以降はREITセクターでの割高・割安の修正があったこともあり堅調なパフォーマンスとなりました。

セクター別の損益では、陸運、電機、輸送用機器、小売り、REITセクターでプラスとなり、食品、機械セクターでマイナスとなりました。

## 〈今後の市況見通し及び投資戦略〉

4月の株式市場は下値模索の相場展開を想定します。円高傾向の継続により、輸出関連企業を中心に業績の下振れ懸念が強まっており、4月下旬から始まる決算発表までは積極的な買い手不在の展開となると思われます。

今後の運用方針は、個別企業の業績・需給動向や国内外のマクロ動向を勘案し、相対的な割高・割安を適切に判断しながら、マーケットの上下に左右されない安定した収益の獲得を目指します。

## 【ウィズダム】

## 〈ファンド運用状況〉

3月の運用成績はJPY-Fクラスで+1.22%でした。年初からの大幅な下落局面で大きく売り込まれた割安株の価格訂正に加え、好業績の中小型株のアウトパフォームによりプラス収益となりました。セクター全般にプラス寄与となりました。

個別銘柄レベルでは、ロングポジションで旭化成(3407)、中村超硬(6166)、ショートポジションで西日本鉄道(9031)、日東電工(6988)がプラス収益に寄与しました。

## 〈今後の市況見通し及び投資戦略〉

今月の株式市場は下落を予想します。米国利上げ見通しの後退から円高が進行していることや、今月下旬から始まる企業決算開示まで今期業績が見通しづらいことから積極的な買いは期待できず下値模索の展開を予想します。

今後の投資戦略につきましては、クオンツモデルとトップアナリストによる投資評価の双方を活用し、銘柄選択により安定的な収益を目指します。

## 【レゾリューション】

## 〈ファンド運用状況〉

小型株は、月初に大きく出遅れましたが、以降、相場上昇に併せて優位に推移し、多少ブレが大きな局面もありましたが、月末にかけて優位を保ちました。これは、サイズの選好と言うよりも、グローバル経済の影響を回避する行動によると思われる。

スタイル的には、月初にローリスクが急落し、併せてバリュエーションが優位となりましたが、長続きせず、月を通してみるとバリュー劣位に終わっています。

ポートフォリオとしては、特に大きな変更を行わず、多少リバウンド狙いの買いも行いましたが、パフォーマンス寄与は低く、全体としては、1~2月にかけて利喰われていたような銘柄が、3月に再度上昇した事によるプラス寄与が大きくなっています。

昨年未だに選好された業績堅調な内需グロース小型株が、再度上昇する状況となっています。

一部ハイバリュエーションの内需株のショートが足を引っ張りましたが、全体としてロングのプラス寄与によりパフォーマンスの確保に至りました。

## 〈今後の市況見通し及び投資戦略〉

気敏感が売られる中で、定性評価によるハイバリュエーション銘柄の値持ちは良く、業績に明確な陰りがない限りショートが相変わらず難しい状況にあります。

一方で、株価に過熱感のない、新たな期待銘柄のロング組入を行いつつあり、今後も銘柄入替を進めていきます。引き続き、個別性のあるスモールキャップのロング部分でパフォーマンスの確保を狙います。

グローバル経済が不透明な中で、新しい魅力的なサブカテゴリーが見いだしにくい状況にあるため、ポジションの大幅なキャラクター変更は予定しません。

業績モメンタムの変化に留意し、継続した業績拡大可能な割安銘柄の組入を行います。成長力や競争力といった中期的な視点により割安銘柄と割高銘柄の選別を進めます。

## 投資信託の主な関係法人

|                   |                                                                                                                              |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 管理会社:             | インターナショナル・マネジメント・サービス・リミテッド                                                                                                  |
| 信託会社:             | G.A.S. (ケイマン)リミテッド                                                                                                           |
| 管理事務代行会社:         | エスエムティー・ファンド・サービス(アイルランド)リミテッド                                                                                               |
| 保管銀行:             | スミトモ・ミツイ・トラスト(ユークイ)リミテッド                                                                                                     |
| 投資運用会社:           | エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第432号<br>加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会                                                |
| 代行協会員・日本における販売会社: | ヘッジファンド証券株式会社 <a href="http://hedgefund-sec.com/">http://hedgefund-sec.com/</a><br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2580号<br>加入協会:日本証券業協会 |

# エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

金融商品取引法に基づく表示

## 商号等

エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第432号

## 当社が加入する協会等について

一般社団法人 日本投資顧問業協会 加入 第011-01395号

## ご留意事項

- 当資料は投資信託の運用状況をお知らせするためにエピック・パートナーズ・インベストメンツが作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。
- 投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。
- 当資料は特定の有価証券等の取得の申込み、投資顧問契約、投資一任契約の勧誘等を目的としたものではありません。
- 当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
- 運用管理費用、監査費用、その他の諸経費が、投資信託の保有期間に応じてかかりますが、事前にその上限を示すことができません。また、有価証券の売買等に係る手数料、租税等が発生しますが、運用の状況により変動しますので事前にその上限を示すことができません。

**当資料は、投資運用会社であるエピック・パートナーズ・インベストメンツが投資信託の運用状況をお知らせするために作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。  
投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。**